

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-CAR101
1	科目名 英語科目名	キャリアデザイン I Career Planning I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年前期 学生部長、勝谷信一郎*、西 雄一*
3	授業テーマ・内容	「キャリアデザイン」とは、自分自身の生き方や働き方を自主的かつ主体的に構想し、実現していくことをいう。大学生活において、自分の経験や能力を再認識して、自己の理解を深め、自身が望む将来像を描くと共に、社会で求められるコミュニケーション力や課題発見・解決力などの能力を養成することが重要である。この「キャリアデザイン I」では、本学での学生生活の目的や目標を明確にすることで、将来の職業世界への関心を深め、働くことの意義や職業世界の構造などについて知り、意欲的な人生設計への実現に向けた選択行動がとれるようになることを目的とする。
4	学習成果	学生自身が、本学での学生生活の目的や目標を明確化し、充実した学生生活を計画的に送ることができる。将来の自分自身のキャリアを考えた選択行動をとることができる。 学生参加型(ワーク重視)の授業を展開していくことで、社会人として必要なスキルである「書く」・「聞く」・「話す」力を身につけることができる。 社会人として求められる最低限の一般常識やマナーを身につけることができる。 自らの「将来像」を意識した学生生活を送ることができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
学生自身が、本学での学生生活の目的や目標を明確化できる。		自身の学生生活の目的や目標を具体的に明確化できている。	自身の学生生活の目的や目標を大きな枠では明確化できている。	自身の学生生活の目的や目標についてある程度方向を見出している。	自身の学生生活の目的や目標を明確化できていない。
将来の自分自身のキャリアを考えた選択行動をとることができる。		将来の自分自身のキャリア像が明確に定まっており、それを踏まえた選択行動をとることができる。	将来の自分自身のキャリア像が定まっており、ある程度それらを踏まえた選択行動をとることができる。	将来の自分自身のキャリア像がある程度定まり、重要な選択については行動をとることができる。	将来の自分自身のキャリア像が定まらず、適切な選択行動をとることができない。
自らの「将来像」を意識した学生生活を送ることができる。		「将来像」が明確で、それを意識した学生生活を送ることができている。	「将来像」が定まり、普段からある程度意識した学生生活を送ることができている。	「将来像」がある程度定まり、重要なタイミングではそれを意識した学生生活を送ることができている。	「将来像」があいまいで意識した学生生活を送ることができていない。
社会人として必要なスキルである「書く」・「聞く」・「話す」力を身につけることができる。		社会人として必要な「書く」・「聞く」・「話す」力をきちんと身につけている。	概ね必要な十分に社会人としての「書く」・「聞く」・「話す」力を身につけている。	社会人として必要な「書く」・「聞く」・「話す」力に関して物足りない面はあるが、対応可能な力を身につけている。	社会人として必要なスキルを身につけることができていない。
社会人として求められる最低限の一般常識やマナーを身につけることができる。		社会人として求められる最低限以上の一般常識やマナーを身につけている。	社会人として求められる最低限の一般常識やマナーを身につけている。	一般常識やマナーが十分に身についたとは言えないが、失礼のないように行動できる。	最低限の一般常識やマナーを身につけることができていない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-CAR201
1	科目名 英語科目名	キャリアデザインⅡ Career Planning Ⅱ
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年後期 学生部長、勝谷信一郎*、西 雄一*
3	授業テーマ・内容	自分自身の今後のキャリアや自身が望む将来像を自らで描き、その実現に向けて行動をしていくためには、まずは現状の自分の経験や能力を再認識して、自己の理解を深めることが必要不可欠である。また、社会の中で生きていくには、他者との関わりを避けて通ることは不可能であり、他者に自分自身を理解してもらうには、自分自身や自らの考えを他者に正確に伝える能力が必要となる。この「キャリアデザインⅡ」では、将来の職業を念頭においてキャリア形成に重点を置くこととし、自分自身を深く理解するとともに、自らを他者に理解して貰える効果的な表現方法をより実践的な演習を通じて学ぶこととする。
4	学習成果	自分自身を客観的に見ることができる視点を養成するとともに、自身のこれまでの経験や現在有する能力などの再認識を行い、自己の理解を深めることができる。 より実践的な演習を通じて、現状自身に不足している力を知るとともに、「仕事＝社会で生きる」ことの本質を身をもって学ぶことができる。 自らを他者に理解して貰えるコミュニケーション能力も身につけることができる。 最終的には、自分自身の今後のキャリアについて、理論的に考えることができるようになり、自身のキャリアプランを作成して、実現に向けて行動することができる。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
自分自身を客観的に見ることができる視点を養成するとともに、自身のこれまでの経験や現在有する能力などの再認識を行い、自己の理解を深めることができる。		自分自身を客観的に見ることができ、自身の経験や能力などの再認識を行え、自己の深い理解を持っている。	概ね自分自身を客観的に見ることができ、自身の経験や能力などの再認識を行え、自己の理解を持っている。	ある程度自分自身を客観的に見ることができ、自身の経験や能力などの再認識を行え、自己の理解が進んできている。	自分自身を客観的に見ることができているとはいえず、自己の理解が深まっていない。
現状自身に不足している力を知るとともに、「仕事＝社会で生きる」ことの本質を身をもって学ぶことができる。		自身に不足している力を知るとともに、「仕事＝社会で生きる」ことの本質を身をもって学ぶことができている。	自身に不足している力を知るとともに、「仕事＝社会で生きる」ことの本質をある程度学ぶことができている。	自身に不足している力を知るとともに、「仕事＝社会で生きる」ことの本質を考えつつある。	現状自身に不足している力や、社会で生きることの本質について理解が不足している。
自らを他者に理解して貰えるコミュニケーション能力を身につけることができる。		様々な状況で自らを他者に理解して貰えるコミュニケーション能力を身につけることができている。	概ね自らを他者に理解して貰えるコミュニケーション能力も身につけることができている。	つたない面はあっても、自らを他者に理解して貰えるコミュニケーション能力も身につけることができている。	自らを他者に理解して貰えるコミュニケーション能力が身につけていない。
自分自身の今後のキャリアについて、理論的に考えることができるようになり、自身のキャリアプランを作成して、実現に向けて行動することができる。		自分自身の今後のキャリアについて、理論的に考えることができ、自身のキャリアプランを作成して、実現に向けて行動できている。	自分自身の今後のキャリアについて、理論的に考えることができ、自身のキャリアプランを作成して、実現に向けて行動できている。	自分自身の今後のキャリアについて、理論的に考えることができ、自身のキャリアプランを作成して、実現に向けて行動できている。	自分自身の今後のキャリアについて、理論的に考えることができず、きちんとしたキャリアプランを作成できていない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-CAR102
1	科目名 英語科目名	企業研修 I Internship I
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位)1年前期または1年後期の定められた期間 学生部長、学科長
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に対する意識を高める。 ・成長のための課題を認識し、大学での学修の深化や将来のキャリア選択を促していく。 ・社会人としての一般常識、マナー、コミュニケーション力を身につける。 ・実務経験をとおして、実際の仕事や職場を知り、自己の職業適性や職業選択について考える契機とする。 ・就職活動の方向性と方法についての基礎的な理解を得るように努める。 ・就職後の職業生活に対する適応力を高めることができるようにする。
4	学習成果	企業とはどんなところなのか。また、実務経験を伴う研修を通して学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につけ、今後の就職活動に対する意識を向上させる。なお、研修中は、研修先の社員・職員や、他の受講学生との協同作業を行うこともあり、研修先の社員・職員の働きぶりを見て、大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
企業とはどんなところなのか、学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につける。		企業理解や社会人との違いを認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につけた。	企業理解や社会人との違いを認識し、自主的に考え、行動できる能力の必要性を理解して行動してみた。	企業理解や社会人との違いを認識し、自主的に考え、行動できる能力の必要性を理解した。	事前研修及び研修の参加状況が不十分で能力を身につけているとは認められない。
研修先で大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。		卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感し、キャリアを意識して行動することができる。	卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感し、今後について意識を高めることができた。	卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感した。	事前研修及び研修の参加状況が不十分で能力を身につけているとは認められない。

シラバス基本情報

0	ナンバリングコード	MEIP-CAR103
1	科目名 英語科目名	企業研修Ⅱ Internship Ⅱ
2	必修/選択 単位 開講時期 担当者	(選択1単位) 1年前期または1年後期の定められた期間 学生部長、学科長
3	授業テーマ・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・就職に対する意識を高める。 ・成長のための課題を認識し、大学での学修の深化や将来のキャリア選択を促していく。 ・社会人としての一般常識、マナー、コミュニケーション力を身につける。 ・実務経験をとおして、実際の仕事や職場を知り、自己の職業適性や職業選択について考える契機とする。 ・就職活動の方向性と方法についての基礎的な理解を得るように努める。 ・就職後の職業生活に対する適応力を高めることができるようにする。
4	学習成果	企業とはどんなところなのか。また、実務経験を伴う研修を通して学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につけ、今後の就職活動に対する意識を向上させる。なお、研修中は、研修先の社員・職員や、他の受講学生との協同作業を行うこともあり、研修先の社員・職員の働きぶりを見て、大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。

ルーブリック

学習成果	評価尺度4	評価尺度3	評価尺度2	評価尺度1	評価尺度0
	期待している以上	十分に満足できる	満足できる	ほぼ満足できる	努力を要する
企業とはどんなところなのか、学生と社会人の違い(一般常識、マナー、コミュニケーション力)を認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につける。		企業理解や社会人との違いを認識し、自主的に考え、行動できる能力を身につけた。	企業理解や社会人との違いを認識し、自主的に考え、行動できる能力の必要性を理解して行動してみた。	企業理解や社会人との違いを認識し、自主的に考え、行動できる能力の必要性を理解した。	事前研修及び研修の参加状況が不十分で能力を身につけているとは認められない。
研修先で大学卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感する。		卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感し、キャリアを意識して行動することができる。	卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感し、今後について意識を高めることができた。	卒業後も常に新しい知識を継続的に獲得していかなければならないことを体感した。	事前研修及び研修の参加状況が不十分で能力を身につけているとは認められない。